

大谷學報

第三十三卷 第三・四合併號

昭和二十七年五月二十五日發行

攝理と自由……………立花勝……(一)

芭蕉文學の奥底にあるもの……………岩見護……(三〇)

淨土教的實踐の問題……………藤原幸章……(四〇)

雪川仁岳の異義……………安藤俊雄……(六二)

恩師朝永三十郎先生……………金松賢諒……(八五)

新刊紹介……………(九〇)
彙報……………(九七)

卒業論文題目一覽……………(一〇一)

大谷大學

大谷學會

大谷學會會則

第一條 本會は大谷學會と稱し、事務所を大谷大學内に置く

第二條 本會は佛教學・哲學・史學・文學並にこれに關連する諸般の研究及びその發表を目的とする

第三條 本會の會員は大谷大學教職員・學生及び本會の趣旨に賛同する者とする

第四條 本會は左の事業を行う

一、年四回機關誌「大谷學報」を發行する

二、毎年春秋二回公開講演會を開く

三、隨時研究會を開催する

四、その他圖書の出版等必要な事業を行う

第五條 本會に左の役員を置く

一、會長 一名

二、理事 二名

三、委員 十名

第六條 役員の任務を左の通り定める

一、會長は本會を代表し、會務を統理する

二、理事は會長を補佐する

三、委員は編集・庶務・會計の事務を分掌する

第七條 役員の選出及任期を左の通り定める

一、會長は大谷大學々長之に任ずる

二、理事は大谷大學々務部長並に庶務部長之に當る
三、委員は大谷大學教授・助教授の互選により、その任期は二年とする

第八條 會員は機關誌「大谷學報」の配布を受け、本會主催の會合に出席する事が出来る

第九條 會員は會費として年額金貳百圓を納めるものとする

第十條 本會則は大谷大學教授會の決議によらなければ變更する事が出来ない

附則 本會則は昭和二十四年五月十八日から實施する
以上

大谷學會役員

會長 山口 益

理事 多屋頼俊 中島正賢

委員 世良壽男 外村完二 杉平頤智 稻葉秀賢

横超慧日 山田亮賢 藤島達朗 中田勇次郎

野上俊靜 池田義祐 (順序不同)

補助委員 藤原一章

會計委員 吉田嘉一郎

囑託

THE
OTANI GAKUHO
(THE JOURNAL OF
BUDDHISM AND CULTURAL SCIENCE)

CONTENTS

Articles :—

Providence and Freedom.

..... Masaru Tachibana

What Lies at the Bottom of Basho's Works.

.....Mamoru Iwami

On the Religious Practice of Pure

Land Buddhism. Koshō Fujiwara

Teachings of Hsia-ch'üan (雪川) Jên-yüeh (仁岳)

.....Toshio Ando

Dr Sanjuro Tomonaga: A Memoir.

..... Kenryo Kanamatsu.

Book Review

News and Notes

PUBLISHED FOR THE OTANI SOCIETY
THE OTANI UNIVERSITY
KYOTO, JAPAN.

大谷學會春季公開講演

時 六月廿一日(土) 午後一時から

處 大谷大學講堂

日本文化の現實性

本學教授 藤島達朗氏

トインビーの史觀

本學博士 壽岳文章氏

來 聽 歡 迎

昭和二十七年五月十五日印刷
昭和二十七年五月二十五日發行

〔非賣品〕

京都市上京區小山上總町

大谷大學內

大谷學會代表者

編集兼 發行 者 多 屋 賴 俊

京都市下京區正面烏丸東

印刷者 西 村 七 兵 衛

京都市上京區小山上總町

大谷大學內

發行所 大 谷 學 會

電話西陣一六四〇